

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	< B区分 > 阿波座駅自転車駐車場、九条駅自転車駐車場、ドーム前千代崎駅自転車駐車場、西大橋駅自転車駐車場、西長堀駅自転車駐車場、朝潮橋駅自転車駐車場、大阪港駅自転車駐車場、弁天町駅西自転車駐車場、弁天町駅東自転車駐車場、大正駅自転車駐車場、大正駅地下自転車駐車場、谷町四丁目駅自転車駐車場、谷町六丁目駅自転車駐車場、難波千日前自転車駐車場、森ノ宮駅自転車駐車場、芦原橋駅自転車駐車場、今宮駅自転車駐車場、恵美須町駅自転車駐車場、桜川駅・ＪＲ難波駅・汐見橋駅自転車駐車場、大国町駅自転車駐車場、JR野田駅・玉川駅自転車駐車場、野田阪神駅・阪神野田駅自転車駐車場、福島駅自転車駐車場、扇町駅・天満駅自転車駐車場、大阪天満宮駅・南森町駅自転車駐車場、地下鉄中津駅自転車駐車場、天神橋筋六丁目駅自転車駐車場、中崎町駅自転車駐車場、阪急中津駅自転車駐車場、安治川口駅自転車駐車場、西九条駅自転車駐車場、上本町駅・谷町九丁目駅自転車駐車場、四天王寺前夕陽ヶ丘駅自転車駐車場
施設所管課・担当	建設局総務部管理課（自転車対策担当）
条例上の設置目的	駅周辺並びに公共の場所における自転車、原動機付自転車及び自動二輪車（以下「自転車等」という。）の放置による危険又は障害を解決する手段の一つとして設けている本市の有料自転車駐車場（以下「有料駐輪場」という。）について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項及び大阪市立有料自転車駐車場条例（平成18年条例第87号。以下「条例」という。）第5条の規定に基づき、有料駐輪場を設置している
業務の概要	・市立有料自転車駐車場の管理運営に関すること ・有料自転車駐車場及び附帯施設の維持保全業務
成果指標	・市民サービスの向上に伴う利用満足度
数値目標	利用満足度：利用満足度のアンケート結果のうち100％
指定管理者名	アーキエムズ・阪神ステーションネット連合体
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用満足度
数値目標	100％
年度実績	98.6％
達成率	98.6％

利用状況

	当年度	前年度	前年度差
利用台数（定期）	215,644	211,663	3,981
利用台数（一時）	2,954,666	2,905,684	48,982
利用率（定期）	80.9％	78.6％	2.3％
利用率（一時）	94.8％	96.4％	-1.6％

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	—	—	—	
	計画	—	—		
利用料金収入	実績	679,264,150	674,282,160	-62,326,850	新型コロナウイルスの影響でテレワークが普及し、利用者が減少したため。
	計画	741,591,000	734,358,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	—	—		
	計画	—	—		
合計	実績	679,264,150	674,282,160	-62,326,850	
	計画	741,591,000	734,358,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	389,415,831	407,723,339	58,103,831	機械式ラック導入の遅れ、及び計画時の想定より、最低賃金が上昇したため。
	計画	331,312,000	322,556,000		
管理費	実績	300,717,612	291,634,675	-73,854,388	機械式ラック導入が計画どおり進まず、計画時の想定より修理費・メンテナンス費・リース費がかからなかったため。
	計画	374,572,000	411,802,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	—	—	—	
	計画	—	—		
合計	実績	690,133,443	699,358,014	-15,750,557	
	計画	705,884,000	734,358,000		

令和6年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用満足度	98.6%	B	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
本市からの支出を0とし、かつ本市に納付金を納めている	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

実施内容（質問項目）：普段、駐輪場を利用するエリア、機械式駐輪場について、管理事務所スタッフについて、駐輪場の利用満足度、導入してほしいサービス 調査方法（期間）：アンケート調査（とても満足している・満足している・普通・不満がある・とても不満があるの5段階評価）B区分全駐輪場（令和7年2月25日～3月31日） 回答率：57.5%（33駅（配布 2860枚 回収1647枚）） 結果の算出方法：利用満足度のみ抽出し、算出。 結果：とても満足している・満足している・普通 98.59% 不満がある・とても不満がある 1.41%

6 外部専門家意見

・前年度比較では収入は増加したものの、収支△10,869千円とマイナスになっており、今後の事業方針や収支改善策の検討が必要。 ・利用料金収入において新型コロナウイルスによる影響による減少との記載があるが、前年度実績をみても利用状況は落ち着いている。他区分に比べて差異が大きいことから、計画あるいは支出を根本的に見直すことが安定的な運営につながると考える。 ・人件費が前年度比較△18,308千円となっているが、最低賃金が上昇している中、理由の確認が必要。 ・機械式ラックの導入が計画どおり進まないことによる今後の事業に対する影響の確認が必要。 ・いくつかの駅で一時利用の利用率が100%を大きく上回っている。提出された資料からは駐輪時間が読めないが、定期利用の利用率が100%に満たないことから、一時利用台数を増やすことが満足度向上につながる可能性があるため、検討いただきたい。 ・利用者満足度調査では、達成率が下がるにも関わらず、目標値を100%としている点は意気込みとしては評価できるが、現実的な目標に再設定することも検討の余地があると考ええる。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・アンケートの結果において、「とても満足している・満足している・普通」の評価の割合が98.59%であった。 ・自転車の大型化に伴う車室の狭小に対する意見や、場内整理整頓（利用違反自転車等の整理含む。）が行き届いていないという意見が見受けられるため、当該意見等を踏まえ、利用者満足度の向上につながるよう施設の管理運営に努められたい。
市費の縮減	B	・提案どおりの基本納付金額を納め、計画どおりの市費削減効果を得ている。
管理運営の履行状況	B	・事業計画で提案のあった機械式駐輪場設備の導入、キャッシュレス対応（B区分の一時利用精算機すべてにQR決済を導入）などに取り組み、サービスの向上に努めていることを確認した。 ・施設の管理運営はチェックシートを使用し、毎月適切に実施していることを確認した。なお、いくつかの現場で、緊急時の事故・災害緊急時のマニュアルが整備されていないことが実地調査において発覚したため、全現場での改善を求めた（対応済）。
総合評価	B	・上記のとおりサービス向上に努めている点について評価できる。外部専門家意見にもあるとおり、事業方針や収支改善策を検討した上で、今後も、さらなるサービスの向上を図り、利用促進に努められたい。